



2025年度 クラブ経営情報開示資料

2026年5月26日（7月24日更新）
公益社団法人 日本プロサッカーリーグ
経営基盤本部 クラブライセンス事務局

1-1. はじめに



(1) 経営情報開示の概要

- ① 2025シーズンのJ 1、J 2、J 3全60クラブのうち、3月および6月決算である7クラブ（柏、湘南、札幌、鳥取、讃岐、高知、北九州）を除いた53クラブにつき、5月に先行発表として経営情報（2025年度決算情報）を開示する
※岡山は2025年2月-6月の5ヵ月決算
- ② 7月には3月決算クラブ、10月には6月決算クラブを含め経営情報（クラブ決算一覧）を開示する予定である（「段階的発表」とする）

(2) 段階的発表を実施する背景

- ① JリーグおよびJクラブをサポート頂いている方々への迅速な情報提供
 - ・ JリーグおよびJクラブの公共性に鑑みると、適時適切な情報を提供することはJリーグの信頼性を維持・向上していくうえで不可欠である
 - ・ クラブ経営への関心が高まることで、クラブに関わる方々がクラブとともに成長に必要な策を検討、実行していく機会も増加する
- ② クラブライセンス制度の透明性・公平性の担保
 - ・ 迅速な開示を行うことで、クラブライセンス審査の透明性と公平性を担保する

1-2. 主なトピックス

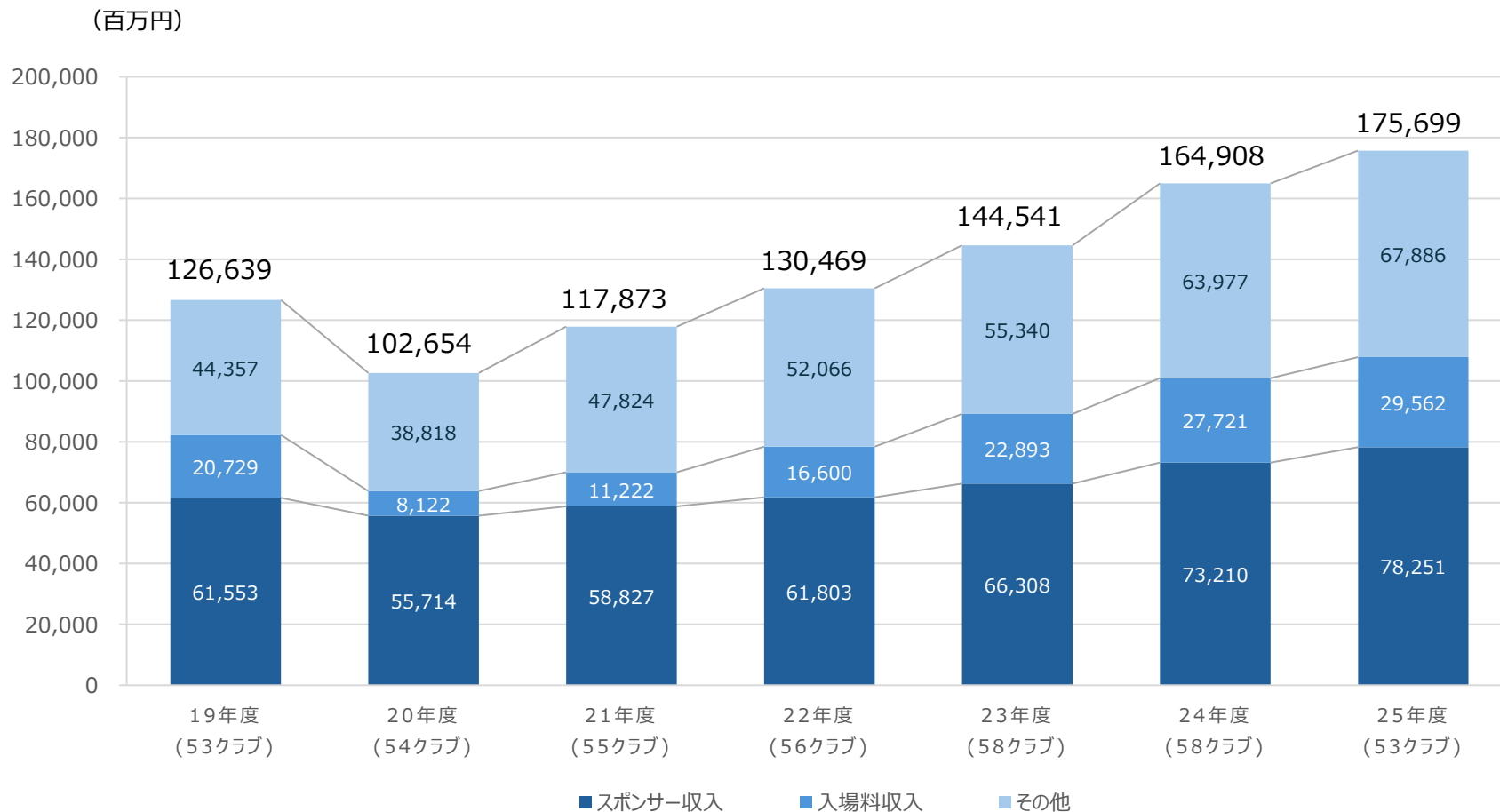
- ① 売上高は53クラブ合計で1,757億円となり、
前期比112%の成長（53クラブでの比較）
38クラブが増収 であった
- ② **浦和、川崎Fが、売上高100億円超**となった
- ③ 2025シーズンの **Jリーグ・Jクラブ全体での売上高は2,100億円超**となる見通し

※今回の開示対象は、
3月および6月決算である7クラブ(柏、湘南、札幌、鳥取、讃岐、高知、北九州)
を除いた53クラブ

1-3. 売上高推移



- クラブ数が53クラブであるものの、売上高合計は増加し、1,757億円となった
- スポンサー収入、入場料収入も前年を上回り増収となった

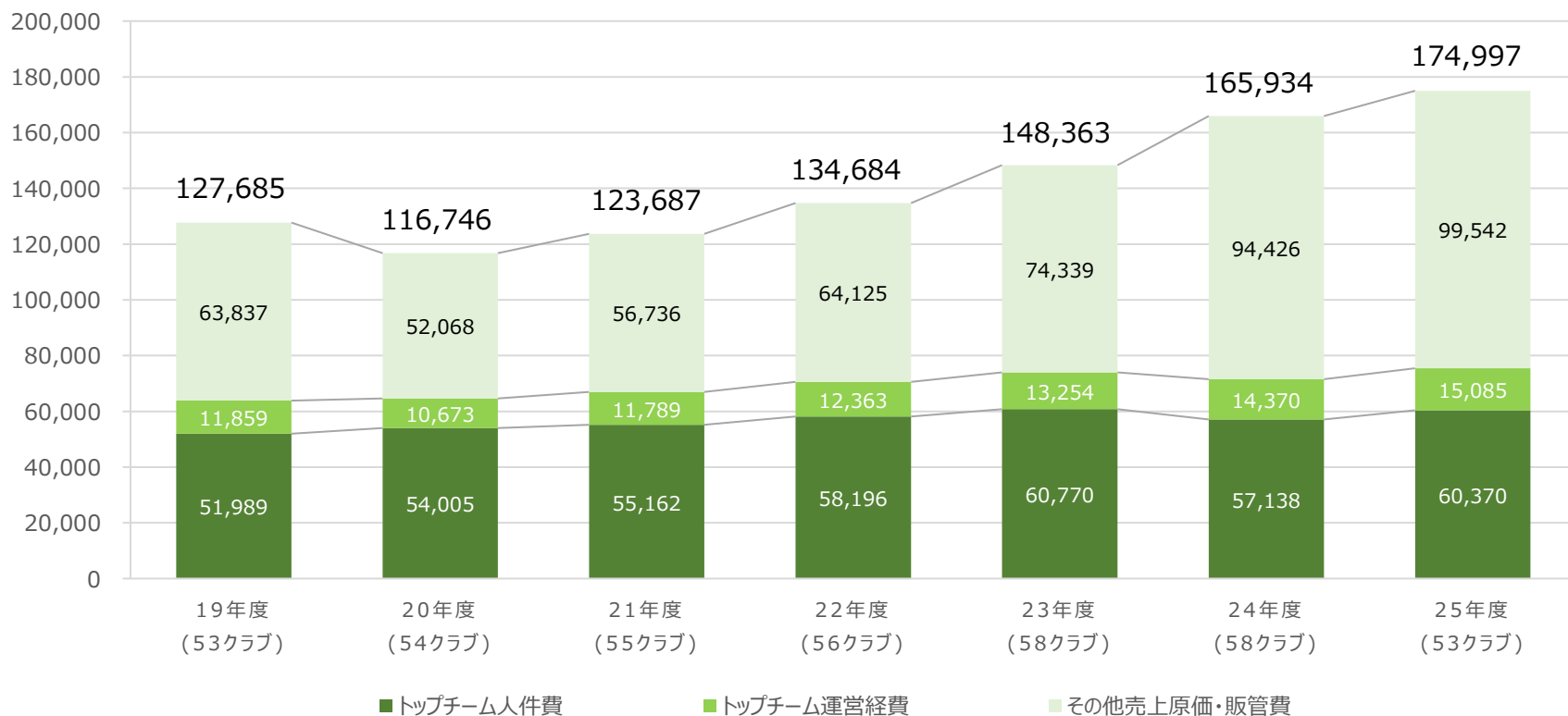


※19年度～22年度の数字は3月決算の2クラブ(柏、湘南)を除いたもの
※FC大阪の入場料収入の一部が、その他収入に含まれていたため修正

1-4. 売上原価・販管費推移

- クラブ数が53クラブであるものの、売上原価・販管費合計は昨年度から増加し、1,750億円となった
- トップチーム人件費（移籍関連費用除く）は前期比106%増加
（2024年度よりトップチーム人件費の内数としていた移籍関連費用を外出したため下図では減少）
- 売上高の増加に伴い、トップチーム運営経費、その他売上原価・販管費も増加している

（百万円）



※19年度～22年度の数字は3月決算の2クラブ(柏、湘南)を除いたもの
 ※福岡のトップチーム人件費の一部が、移籍関連費用に含まれていたため修正

2-1. 2つの成長テーマに関連する経営情報

- Jリーグでは、リーグを取り巻く様々な環境変化を踏まえ、リーグ全体のより一層の成長促進のために、新たな成長戦略として「2つの成長テーマ」を掲げ、様々な施策や構造改革を進めている
- 施策や構造改革の成果が現れるのは今後になるが、現時点での、2つの成長テーマに関連する経営情報を整理した



2-2. 売上高・チーム人件費が増加したクラブ

- 売上高、および売上原価・販管費が増加したクラブは、J 1・J 2・J 3で7～9割
- J 1・J 2クラブで、スポンサー収入、入場料収入、トップチーム人件費の増加が顕著

	増加したクラブ数		
	J 1	J 2	J 3
売上高	15クラブ (88%)	14クラブ (74%)	9クラブ (60%)
スポンサー収入	16クラブ (94%)	17クラブ (89%)	7クラブ (47%)
入場料収入	13クラブ (76%)	15クラブ (79%)	10クラブ (67%)
売上原価・販管費	17クラブ (100%)	17クラブ (89%)	10クラブ (67%)
トップチーム人件費	15クラブ (88%)	15クラブ (79%)	10クラブ (67%)

※前年との比較が不可能なクラブ（柏、湘南、岡山*、札幌、栃木C*、鳥取、讃岐、高知、北九州）を除いたもの

※岡山は2025年2月-6月の5ヵ月決算、栃木CはJリーグ入会初年度のため比較からは除く

※FC大阪の入場料収入の一部が、その他収入に含まれていたため修正

2-3. 売上高の推移

3月および6月決算である7クラブ
(柏、湘南、札幌、鳥取、讃岐、高知、北九州)
を除いた53クラブについて



■ 売上高が増加したクラブは38クラブ（75%）、減少したクラブは13クラブ（25%）である

■ 増加したクラブの内訳は、J 1 が15クラブ、J 2 が14クラブ、J 3 が9クラブである

※増減およびパーセンテージの試算は、5か月決算の岡山、Jリーグ入会初年度の栃木Cを除く51クラブ

【2025年 J 1 在籍クラブ】 (百万円)				
	2023年度	2024年度	2025年度	前年比
浦和	10,384	10,211	11,310	+1,099
川崎F	7,963	8,403	10,069	+1,666
G大阪	6,574	7,223	8,817	+1,594
神戸	7,037	8,067	8,711	+644
広島	4,198	8,035	8,348	+313
鹿島	6,462	7,200	8,173	+973
横浜FM	6,509	7,333	7,751	+418
FC東京	5,929	6,989	7,210	+221
町田	3,409	5,754	6,914	+1,160
名古屋	6,303	6,874	6,463	▲411
C大阪	4,868	5,401	5,720	+319
清水	5,101	5,003	5,353	+350
新潟	3,659	4,062	4,514	+452
東京V	2,818	3,683	4,510	+827
京都	3,393	3,720	4,435	+715
福岡	2,874	3,053	3,740	+687
横浜FC	3,627	3,314	3,303	▲11
岡山	1,937	2,036	1,908	▲128
合計	93,045	106,361	117,248	+10,887
平均	5,169	5,909	6,514	

柏	4,419	4,658	-	-
湘南	2,812	2,896	-	-

	58クラブ	58クラブ	53クラブ	
総合計	137,859	157,078	175,699	+18,621
平均	2,377	2,708	3,315	

【2025年 J 2 在籍クラブ】 (百万円)				
	2023年度	2024年度	2025年度	前年比
磐田	4,254	4,852	5,668	+816
大宮	2,788	2,640	4,597	+1,957
千葉	2,649	3,197	3,927	+730
長崎	2,111	2,352	3,331	+979
山形	2,500	2,612	3,154	+542
鳥栖	2,497	3,058	2,729	▲329
仙台	2,520	2,500	2,465	▲35
徳島	2,092	2,731	2,188	▲543
今治	1,292	1,353	2,004	+651
大分	1,861	1,819	1,769	▲50
甲府	2,040	1,748	1,707	▲41
水戸	1,104	1,224	1,642	+418
いわき	1,077	1,408	1,500	+92
富山	786	919	1,396	+477
山口	1,098	1,251	1,385	+134
愛媛	860	1,119	1,267	+148
熊本	1,228	1,133	1,252	+119
秋田	904	1,007	1,246	+239
藤枝	805	907	1,118	+211
合計	34,466	37,830	44,345	+6,515
平均	1,814	1,991	2,334	

札幌	4,111	5,000	-	-
----	-------	-------	---	---

【凡例】
 : J1在籍
 : J2在籍
 : J3在籍

【2025年 J 3 在籍クラブ】 (百万円)				
	2023年度	2024年度	2025年度	前年比
相模原	486	1,074	1,531	+457
松本	1,456	1,432	1,506	+74
金沢	871	1,274	1,240	▲34
鹿児島	886	1,130	1,109	▲21
栃木SC	1,088	1,199	1,046	▲153
岐阜	904	1,010	997	▲13
長野	741	874	850	▲24
群馬	790	1,007	779	▲228
宮崎	218	510	761	+251
琉球	512	603	750	+147
FC大阪	559	659	674	+15
沼津	511	589	617	+28
福島	403	523	600	+77
八戸	494	538	575	+37
栃木C	-	-	564	+564
奈良	429	465	507	+42
合計	10,348	12,887	14,106	+1,219
平均	690	859	882	

北九州	933	907	-	-
鳥取	469	540	-	-
讃岐	424	443	-	-
高知	-	-	-	-

2-4. スポンサー収入の推移

3月および6月決算である7クラブ
(柏、湘南、札幌、鳥取、讃岐、高知、北九州)
を除いた53クラブについて



- スポンサー収入が増加したクラブは40クラブ（78%）、減少したクラブは11クラブ（22%）である
- 増加したクラブの内訳は、J 1 が16クラブ、J 2 が17クラブ、J 3 が7クラブである

※増減およびパーセンテージの試算は、5か月決算の岡山、Jリーグ入会初年度の栃木Cを除く51クラブ

	2023年度	2024年度	2025年度	前年比
町田	2,656	4,043	4,581	+538
浦和	4,223	4,108	4,195	+87
川崎F	3,452	4,029	3,765	▲264
鹿島	2,418	2,598	3,324	+726
FC東京	2,836	2,989	3,223	+234
神戸	2,409	2,439	3,025	+586
名古屋	2,738	2,817	2,988	+171
横浜FM	2,222	2,762	2,871	+109
広島	1,864	2,719	2,792	+73
C大阪	2,741	2,737	2,758	+21
清水	2,910	2,510	2,672	+162
京都	1,997	2,151	2,371	+220
G大阪	2,188	2,263	2,292	+29
横浜FC	1,528	1,441	1,584	+143
福岡	936	1,025	1,543	+518
新潟	1,233	1,338	1,426	+88
東京V	343	873	1,331	+458
岡山	861	910	881	▲29
合計	39,555	43,752	47,622	+3,870
平均	2,198	2,431	2,646	

柏	3,111	2,845	-	-
湘南	1,287	1,310	-	-

	58クラブ	58クラブ	53クラブ	
総合計	63,087	69,669	78,251	+8,582
平均	1,088	1,201	1,476	

	2023年度	2024年度	2025年度	前年比
磐田	2,675	2,849	3,437	+588
大宮	1,493	1,574	2,801	+1,227
千葉	1,622	1,713	2,081	+368
長崎	1,240	1,274	1,455	+181
仙台	1,702	1,591	1,387	▲204
徳島	1,347	1,329	1,335	+6
山形	940	1,053	1,222	+169
今治	744	802	1,200	+398
鳥栖	982	986	1,023	+37
甲府	851	780	832	+52
水戸	574	641	793	+152
富山	490	490	773	+283
大分	738	784	736	▲48
山口	611	589	670	+81
秋田	467	527	660	+133
藤枝	414	449	617	+168
愛媛	389	540	583	+43
いわき	488	502	564	+62
熊本	459	488	497	+9
合計	18,226	18,961	22,666	+3,705
平均	959	998	1,193	

札幌	1,933	2,059	-	-
----	-------	-------	---	---

【凡例】
 : J1在籍
 : J2在籍
 : J3在籍

	2023年度	2024年度	2025年度	前年比
相模原	240	856	1,279	+423
松本	780	742	772	+30
栃木SC	560	650	576	▲74
金沢	360	599	565	▲34
宮崎	110	345	541	+196
鹿児島	437	491	523	+32
FC大阪	404	499	494	▲5
岐阜	477	525	493	▲32
群馬	350	480	395	▲85
栃木C	-	-	395	+395
福島	261	326	394	+68
沼津	309	352	350	▲2
長野	338	331	326	▲5
琉球	169	212	317	+105
八戸	296	305	300	▲5
奈良	215	243	243	+0
合計	5,306	6,956	7,963	+1,007
平均	354	464	498	

北九州	933	907	-	-
鳥取	469	540	-	-
讃岐	424	443	-	-
高知	-	-	-	-

2-5. 入場料収入の推移

3月および6月決算である7クラブ
(柏、湘南、札幌、鳥取、讃岐、高知、北九州)
を除いた53クラブについて



- 入場料収入が増加したクラブは37クラブ（73%）、減少したクラブは14クラブ（27%）である
- 増加したクラブの内訳は、J 1 が13クラブ、J 2 が15クラブ、J 3 が9クラブである

※増減およびパーセンテージの試算は、5か月決算の岡山、Jリーグ入会初年度の栃木Cを除く51クラブ

【2025年 J 1 在籍クラブ】 (百万円)				
	2023年度	2024年度	2025年度	前年比
浦和	2,145	2,012	2,214	+202
広島	631	2,004	2,166	+162
横浜FM	1,499	1,741	1,530	▲211
川崎F	1,258	1,329	1,469	+140
鹿島	1,201	1,238	1,458	+220
G大阪	970	1,185	1,451	+266
神戸	1,320	1,309	1,441	+132
FC東京	1,208	1,450	1,439	▲11
名古屋	1,243	1,310	1,360	+50
新潟	847	1,010	1,247	+237
C大阪	900	1,000	1,164	+164
清水	835	941	1,128	+187
京都	599	612	891	+279
東京V	366	726	784	+58
福岡	618	669	647	▲22
町田	202	687	571	▲116
横浜FC	524	327	512	+185
岡山	248	293	350	+57
合計	16,614	19,843	21,822	+1,979
平均	923	1,102	1,212	

柏	413	623	-	-
湘南	523	476	-	-

	58クラブ	58クラブ	53クラブ	
総合計	21,915	26,316	29,562	+3,246
平均	378	454	558	

【2025年 J 2 在籍クラブ】 (百万円)				
	2023年度	2024年度	2025年度	前年比
長崎	182	548	1,114	+566
千葉	302	382	701	+319
磐田	530	614	597	▲17
鳥栖	619	607	520	▲87
仙台	375	433	478	+45
大宮	270	259	383	+124
山形	279	366	373	+7
大分	334	361	346	▲15
甲府	338	313	290	▲23
山口	125	150	202	+52
徳島	170	154	199	+45
熊本	155	169	176	+7
水戸	109	136	170	+34
富山	54	141	160	+19
いわき	90	129	151	+22
今治	78	83	141	+58
藤枝	102	137	138	+1
愛媛	58	78	80	+2
秋田	48	55	70	+15
合計	4,218	5,115	6,290	+1,175
平均	222	269	331	

札幌	775	1,127	-	-
----	-----	-------	---	---

【凡例】
 : J1在籍
 : J2在籍
 : J3在籍

【2025年 J 3 在籍クラブ】 (百万円)				
	2023年度	2024年度	2025年度	前年比
松本	276	320	279	▲41
金沢	80	170	163	▲7
鹿児島	79	129	150	+21
栃木SC	154	163	130	▲33
岐阜	90	107	111	+4
栃木C	-	-	90	+90
長野	69	80	83	+3
群馬	116	100	75	▲25
沼津	32	53	71	+18
宮崎	22	24	65	+41
相模原	45	43	62	+19
奈良	38	44	48	+4
琉球	34	61	37	▲24
八戸	13	18	30	+12
FC大阪	16	25	29	+4
福島	19	21	27	+6
合計	1,083	1,358	1,449	+91
平均	72	91	91	

北九州	83	120	-	-
鳥取	39	58	-	-
讃岐	35	35	-	-
高知	-	-	-	-

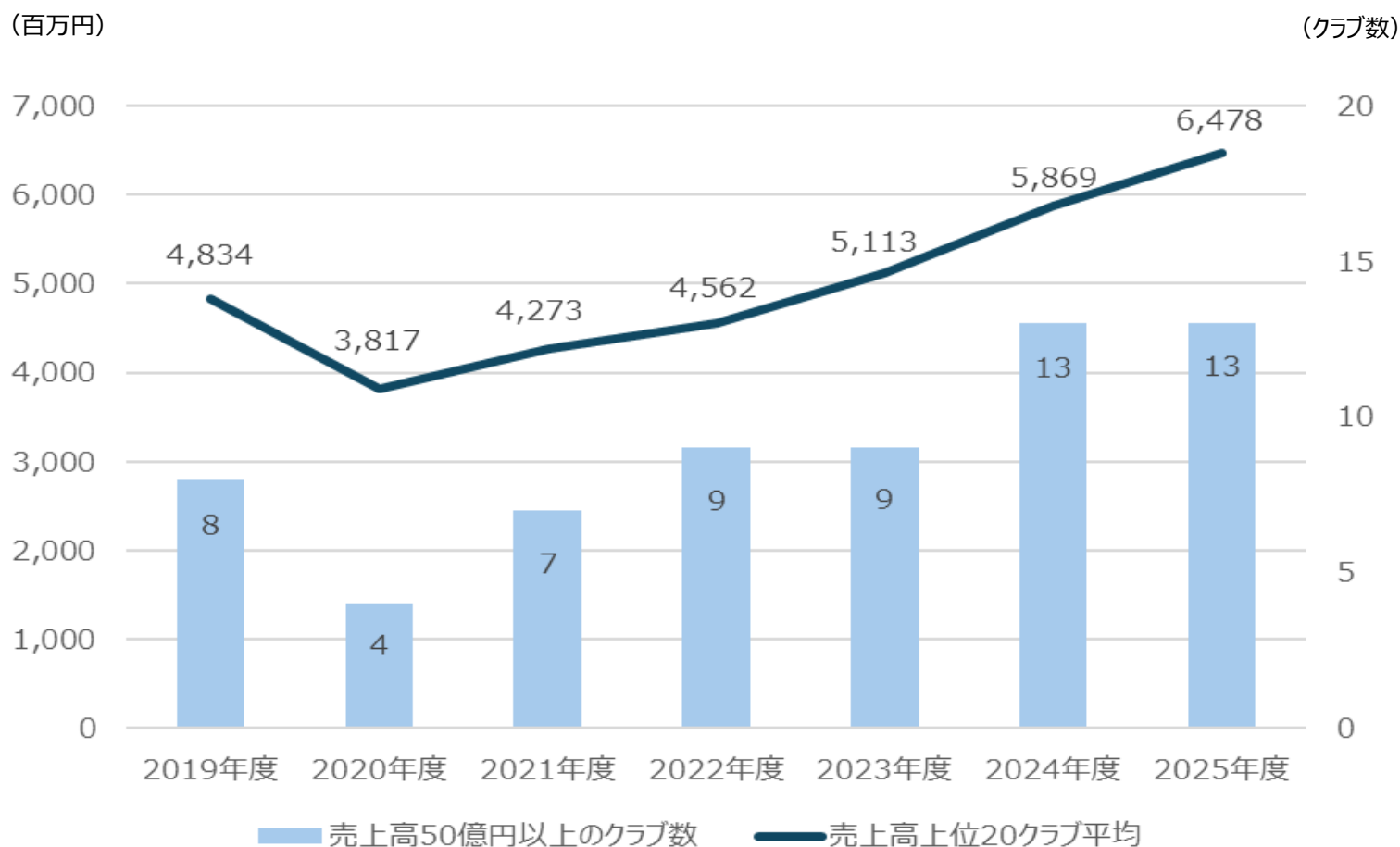
※FC大阪の入場料収入の一部が、その他収入に含まれていたため修正

2-6. 売上高上位20クラブ平均 売上高50億円以上のクラブ数

3月および6月決算である7クラブ
(柏、湘南、札幌、鳥取、讃岐、高知、北九州)
を除いた53クラブについて



- 売上高上位20クラブ平均は64億78百万円であり、前年度より大幅に増加した
- 売上高50億円以上のクラブ数も、前年度と同数の13クラブとなった

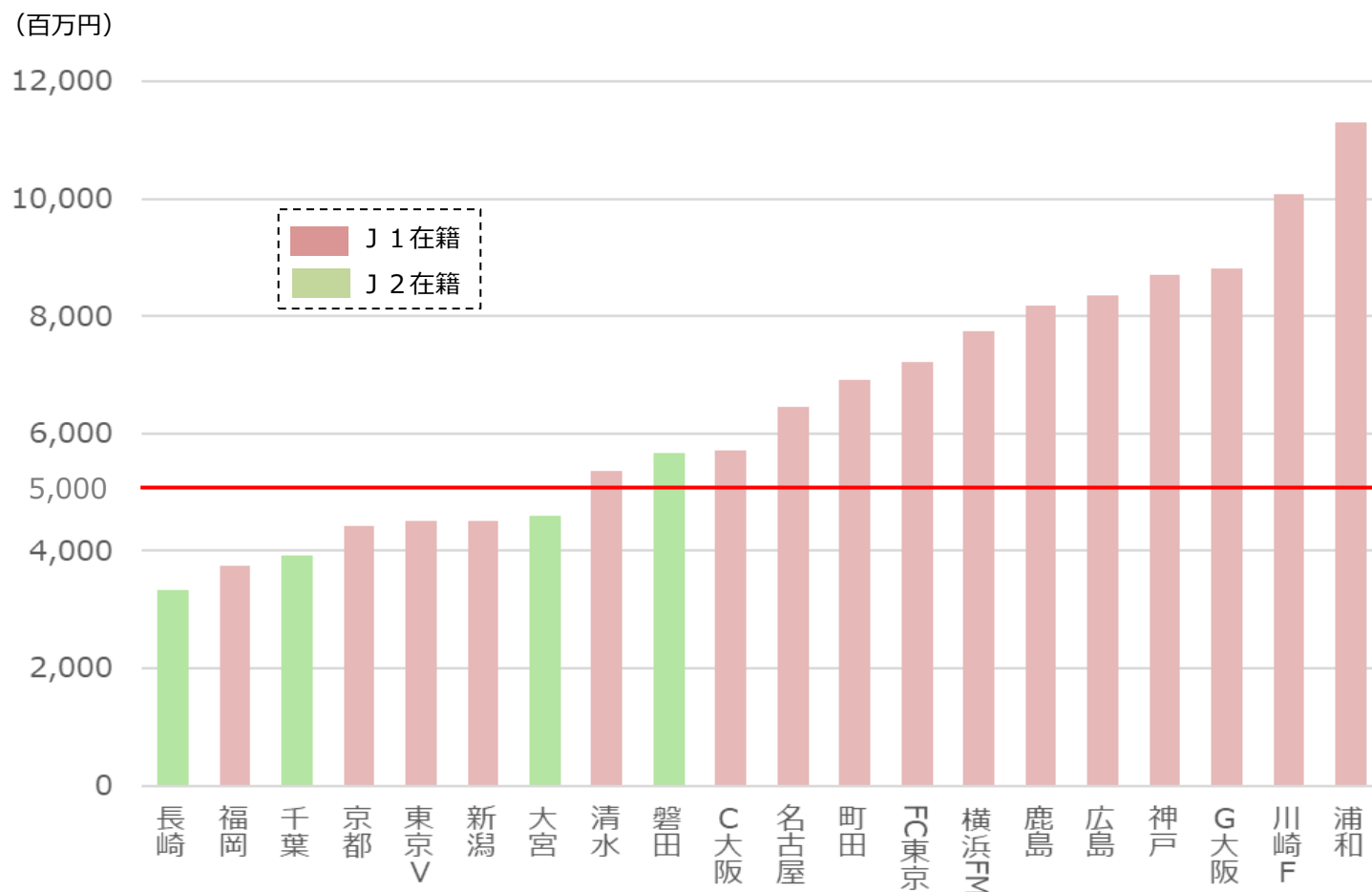


2-7. 売上高上位20クラブ（売上高順）

3月および6月決算である7クラブ
(柏、湘南、札幌、鳥取、讃岐、高知、北九州)
を除いた53クラブについて



- 売上高が最も高いのは浦和で113億円、次いで川崎 F が101億円、G 大阪・神戸・広島・鹿島が80億円超となった
- 上記6クラブに加えて、横浜FM、FC東京、町田、名古屋、C 大阪、磐田、清水が売上高50億円以上のクラブとなっている



2-8. 売上高成長率上位10クラブ

3月および6月決算である7クラブ
(柏、湘南、札幌、鳥取、讃岐、高知、北九州)
を除いた53クラブについて

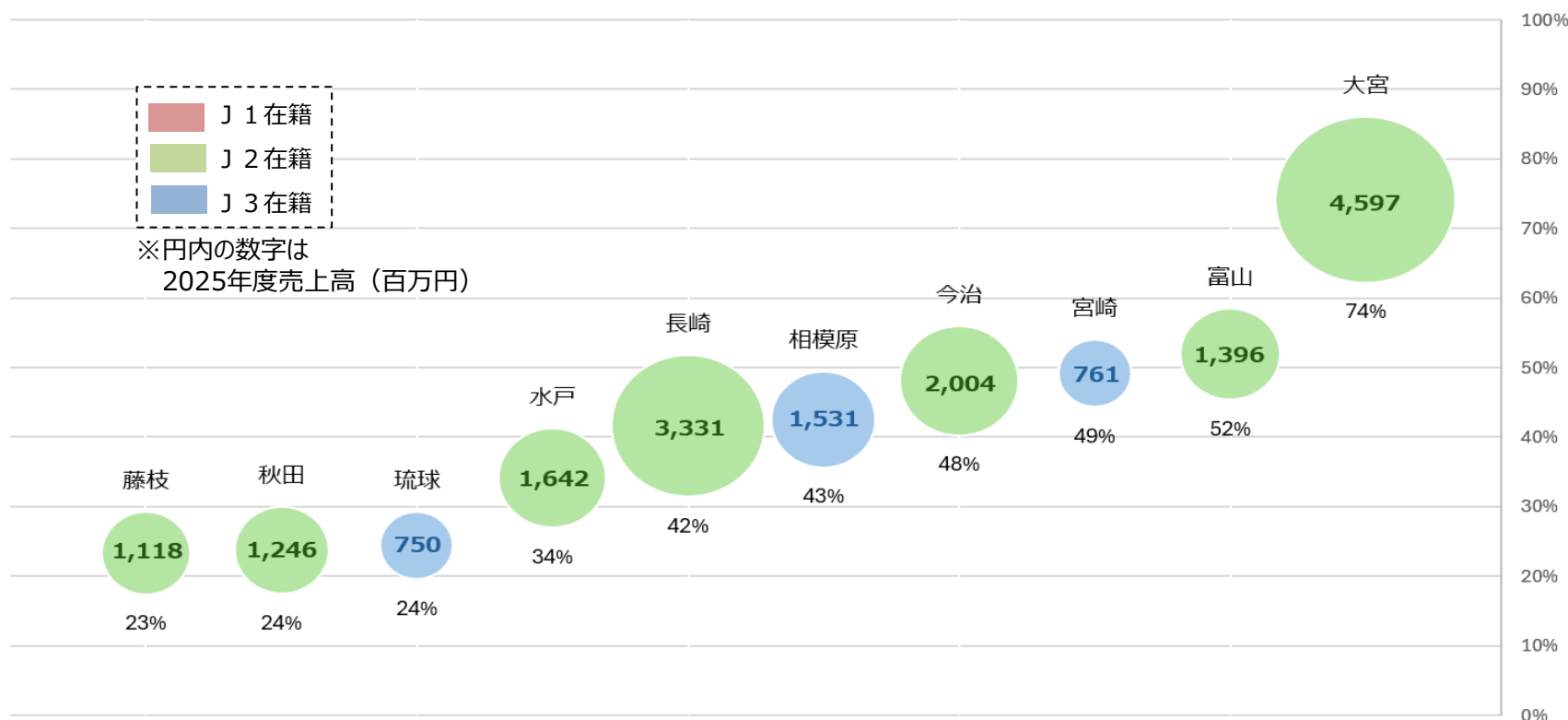


- 売上高成長率が最も高いのは大宮で74%、次いで富山が52%、宮崎が49%、今治が48%

売上高成長率

$$= (2025年度売上高 - 2024年度売上高) \div 2024年度売上高$$

(% : 売上高成長率)





Appendix

3-1. J 1・J 2・J 3クラブ合計



(百万円)

	J 1 合計			J 2 合計			J 3 合計			J 1 + J 2 + J 3 合計		
	2024年度 (18クラブ)	2025年度 (18クラブ)	前年比	2024年度 (20クラブ)	2025年度 (19クラブ)	前年比	2024年度 (20クラブ)	2025年度 (16クラブ)	前年比	2024年度 (58クラブ)	2025年度 (53クラブ)	前年比
売上高	108,918	117,248	+8,330	38,697	44,345	+5,648	17,293	14,106	▲3,187	164,908	175,699	+10,791
スポンサー収入	44,785	47,622	+2,837	18,742	22,666	+3,924	9,683	7,963	▲1,720	73,210	78,251	+5,041
入場料収入	20,630	21,822	+1,192	5,364	6,290	+926	1,727	1,449	▲278	27,721	29,562	+1,841
物販収入	11,661	11,954	+293	3,128	3,679	+551	1,376	1,249	▲127	16,165	16,882	+717
Jリーグ配分金	7,309	7,691	+382	2,248	2,213	▲35	481	447	▲34	10,038	10,351	+313
移籍補償金等収入	6,801	8,096	+1,295	2,980	3,494	+514	271	283	+12	10,052	11,873	+1,821
アカデミー関連収入	2,914	3,417	+503	1,521	1,228	▲293	1,160	805	▲355	5,595	5,450	▲145
女子チーム関連収入	1,427	1,380	▲47	260	488	+228	525	321	▲204	2,212	2,189	▲23
その他収入	13,392	15,265	+1,873	4,454	4,287	▲167	2,070	1,587	▲483	19,916	21,139	+1,223
売上原価	83,922	88,157	+4,235	30,165	34,518	+4,353	13,025	10,922	▲2,103	127,112	133,597	+6,485
トップチーム人件費	38,348	41,126	+2,778	13,481	14,829	+1,348	5,309	4,416	▲893	57,138	60,370	+3,232
トップチーム運営経費	8,372	8,831	+459	4,062	4,478	+416	2,026	1,776	▲250	14,460	15,085	+625
試合関連経費（ホームゲーム開催費）	8,167	7,638	▲529	3,164	3,827	+663	1,732	1,359	▲373	13,063	12,825	▲238
物販関連費	8,430	8,489	+59	2,241	2,649	+408	909	861	▲48	11,580	11,999	+419
移籍関連費用	8,764	10,036	+1,272	1,883	2,527	+644	207	179	▲28	10,854	12,743	+1,889
アカデミー関連経費	5,296	5,521	+225	2,885	3,401	+516	1,705	1,028	▲677	9,886	9,950	+64
女子チーム関連経費	1,596	1,729	+133	338	726	+388	495	328	▲167	2,429	2,784	+355
その他売上原価	4,948	4,787	▲161	2,111	2,080	▲31	639	974	+335	7,698	7,841	+143
販売費および一般管理費	23,696	27,291	+3,595	9,525	10,401	+876	5,601	3,708	▲1,893	38,822	41,400	+2,578
営業利益（▲損失）	1,300	1,799	+499	▲993	▲574	+419	▲1,334	▲524	+810	▲1,027	700	+1,727
営業外収益	875	907	+31	244	365	+120	160	145	▲15	1,280	1,416	+136
営業外費用	591	3,750	+3,159	73	116	+43	75	50	▲25	739	3,916	+3,177
経常利益（▲損失）	1,585	▲1,044	▲2,629	▲822	▲326	+496	▲1,250	▲429	+821	▲486	▲1,799	▲1,312
特別利益	201	2,343	+2,142	1,387	1,978	+591	80	222	+142	1,668	4,543	+2,875
特別損失	258	674	+416	165	183	+18	50	250	+200	473	1,107	+634
税引前当期利益（▲損失）	1,530	625	▲905	399	1,471	+1,072	▲1,219	▲457	+762	710	1,639	+929
法人税および住民税等	415	579	+164	190	387	+197	▲2	▲1	+1	603	965	+362
当期純利益（▲損失）	1,114	46	▲1,068	208	1,089	+881	▲1,220	▲455	+765	102	680	+578

※福岡のトップチーム人件費の一部が、移籍関連費用に含まれていたため修正
 ※FC大阪の入場料収入が、その他収入に含まれていたため修正

3-2. J 1・J 2・J 3 クラブ平均



(百万円)

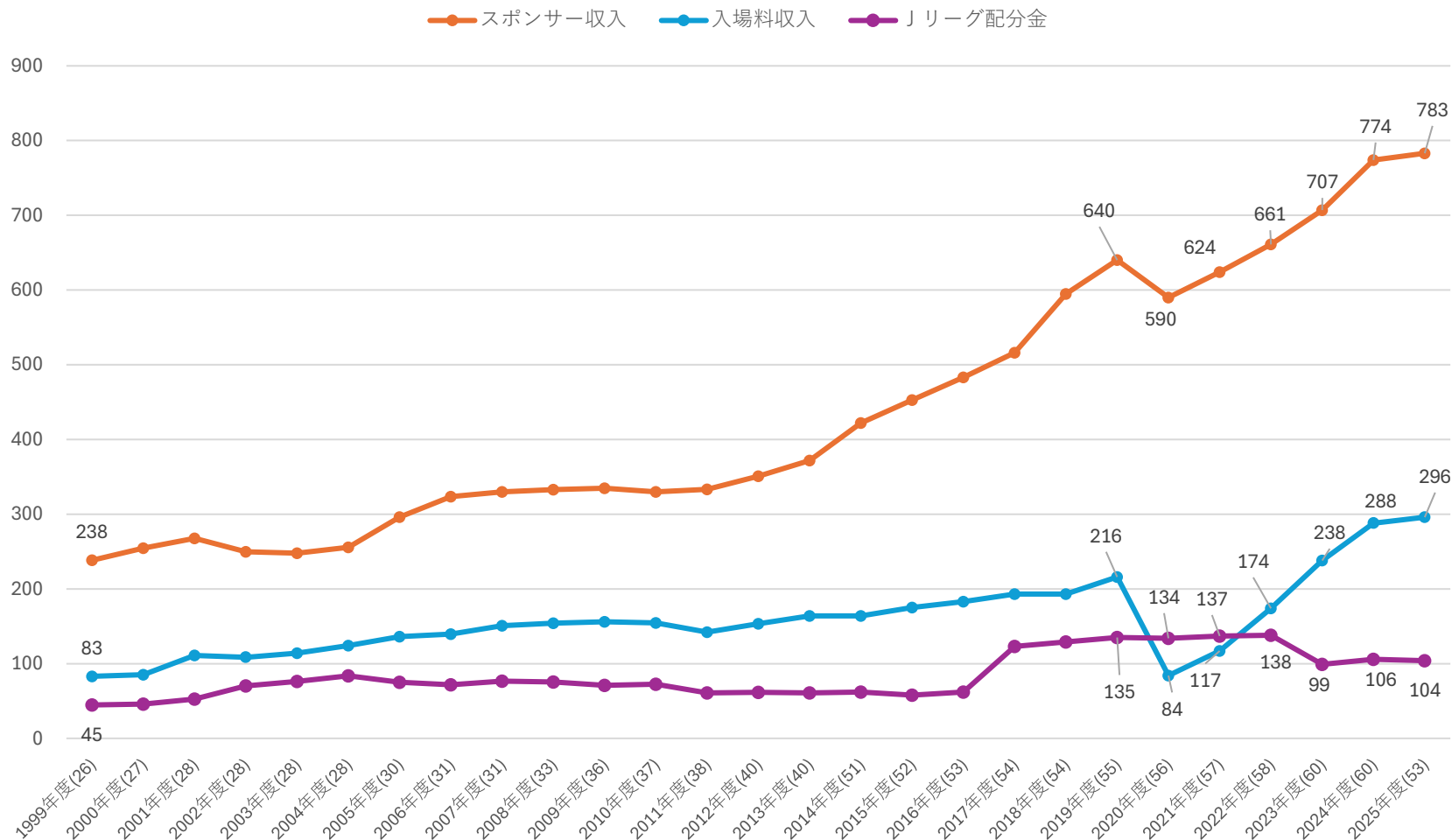
	J 1 平均					J 2 平均					J 3 平均					J 1 + J 2 + J 3 平均		
	2024年度 (18クラブ)	構成比	2025年度 (18クラブ)	前年比	構成比	2024年度 (20クラブ)	構成比	2025年度 (19クラブ)	前年比	構成比	2024年度 (20クラブ)	構成比	2025年度 (16クラブ)	前年比	構成比	2024年度 (58クラブ)	2025年度 (53クラブ)	前年比
売上高	6,051	100.0%	6,514	+463	100.0%	1,935	100.0%	2,334	+399	100.0%	865	100.0%	882	+17	100.0%	2,843	3,315	+472
スポンサー収入	2,488	41.1%	2,646	+158	40.6%	937	48.4%	1,193	+256	51.1%	484	56.0%	498	+14	56.5%	1,262	1,476	+214
入場料収入	1,146	18.9%	1,212	+66	18.6%	268	13.9%	331	+63	14.2%	86	10.0%	91	+4	10.3%	478	558	+80
物販収入	648	10.7%	664	+16	10.2%	156	8.1%	194	+37	8.3%	69	8.0%	78	+9	8.9%	279	319	+40
Jリーグ配分金	406	6.7%	427	+21	6.6%	112	5.8%	116	+4	5.0%	24	2.8%	28	+4	3.2%	173	195	+22
移籍補償金等収入	378	6.2%	450	+72	6.9%	149	7.7%	184	+35	7.9%	14	1.6%	18	+4	2.0%	173	224	+51
アカデミー関連収入	162	2.7%	190	+28	2.9%	76	3.9%	65	▲11	2.8%	58	6.7%	50	▲8	5.7%	96	103	+6
女子チーム関連収入	79	1.3%	77	▲3	1.2%	13	0.7%	26	+13	1.1%	26	3.0%	20	▲6	2.3%	38	41	+3
その他収入	744	12.3%	848	+104	13.0%	223	11.5%	226	+3	9.7%	104	12.0%	99	▲4	11.3%	343	399	+55
売上原価	4,662	100.0%	4,898	+235	100.0%	1,508	100.0%	1,817	+309	100.0%	651	100.0%	683	+32	100.0%	2,192	2,521	+329
トップチーム人件費	2,130	45.7%	2,285	+154	46.7%	674	44.7%	780	+106	43.0%	265	40.8%	276	+11	40.4%	985	1,139	+154
トップチーム運営経費	465	10.0%	491	+25	10.0%	203	13.5%	236	+33	13.0%	101	15.6%	111	+10	16.3%	249	285	+35
試合関連経費（ホームゲーム開催費）	454	9.7%	424	▲29	8.7%	158	10.5%	201	+43	11.1%	87	13.3%	85	▲2	12.4%	225	242	+17
物販関連経費	468	10.0%	472	+3	9.6%	112	7.4%	139	+27	7.7%	45	7.0%	54	+9	7.9%	200	226	+27
移籍関連費用	487	10.4%	558	+71	11.4%	94	6.2%	133	+39	7.3%	10	1.6%	11	+1	1.6%	187	240	+53
アカデミー関連経費	294	6.3%	307	+12	6.3%	144	9.6%	179	+35	9.9%	85	13.1%	64	▲21	9.4%	170	188	+17
女子チーム関連経費	89	1.9%	96	+7	2.0%	17	1.1%	38	+21	2.1%	25	3.8%	21	▲4	3.1%	42	53	+11
その他売上原価	275	5.9%	266	▲9	5.4%	106	7.0%	109	+4	6.0%	32	4.9%	61	+29	8.9%	133	148	+15
販売費および一般管理費	1,316	-	1,516	+200	-	476	-	547	+71	-	280	-	232	▲48	-	669	781	+112
営業利益（▲損失）	72	-	100	+28	-	▲50	-	▲30	+19	-	▲67	-	▲33	+33	-	▲18	13	+31
営業外収益	49	-	50	+2	-	12	-	19	+7	-	8	-	9	+1	-	22	27	+5
営業外費用	33	-	208	+175	-	4	-	6	+2	-	4	-	3	▲1	-	13	74	+61
経常利益（▲損失）	88	-	▲58	▲146	-	▲41	-	▲17	+24	-	▲63	-	▲27	+36	-	▲8	▲34	▲26
特別利益	11	-	130	+119	-	69	-	104	+35	-	4	-	14	+10	-	29	86	+57
特別損失	14	-	37	+23	-	8	-	10	+1	-	3	-	16	+14	-	8	21	+13
税引前当期利益（▲損失）	85	-	35	▲50	-	20	-	77	+57	-	▲62	-	▲29	+32	-	12	31	+19
法人税および住民税等	23	-	32	+9	-	10	-	20	+10	-	▲0	-	▲0	+0	-	10	18	+8
当期純利益（▲損失）	62	-	3	▲59	-	10	-	57	+47	-	▲62	-	▲28	+33	-	2	13	+11

※福岡のトップチーム人件費の一部が、移籍関連費用に含まれていたため修正
 ※FC大阪の入場料収入が、その他収入に含まれていたため修正

3-3. 売上高主要項目の推移



(単位：億円)



※2010年度以前のJリーグ配分金には、賞金が含まれている

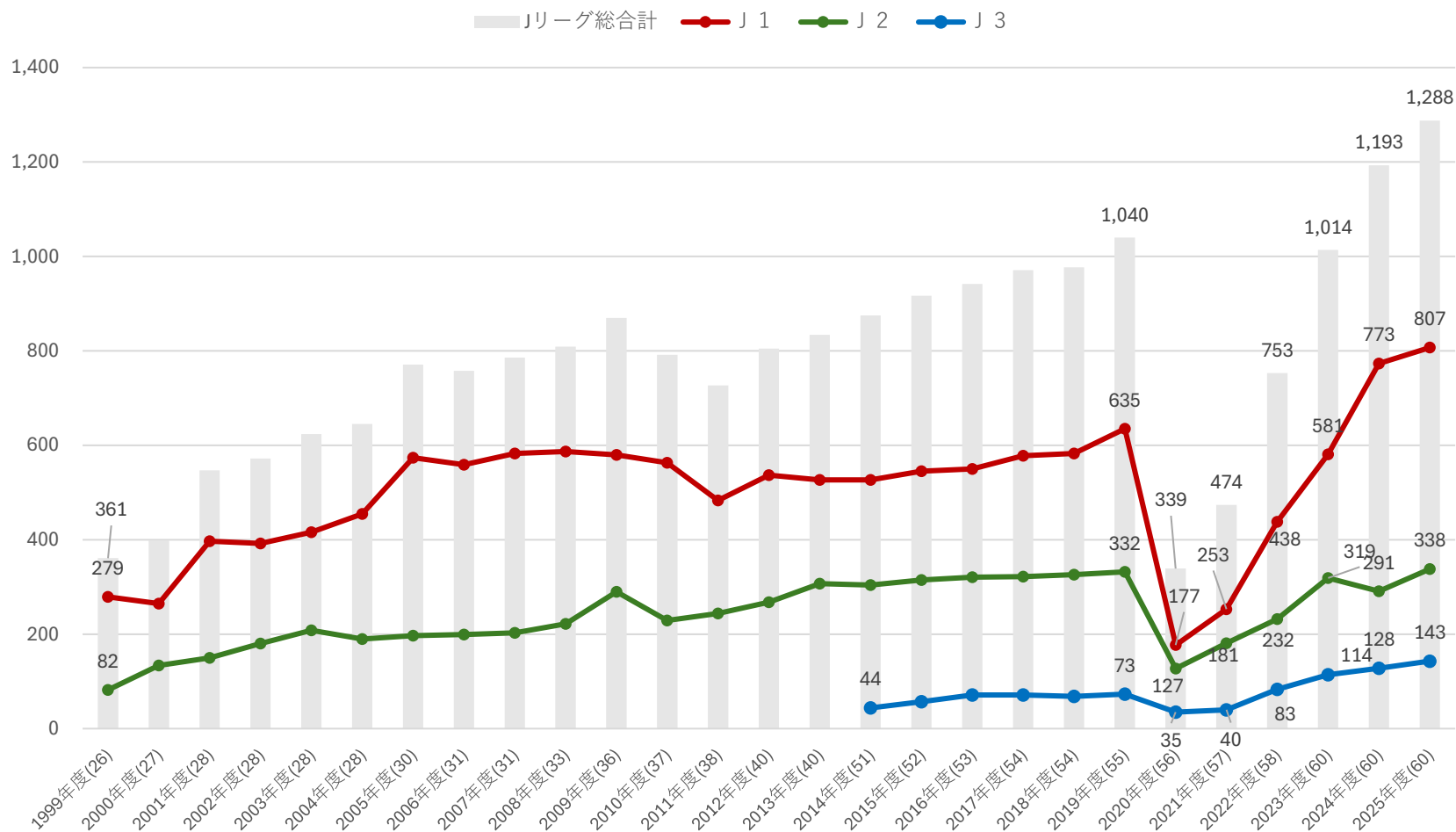
※2024年度Jリーグ決算発表における配分金の公表数値とは、Jリーグとクラブとの決算月のずれ等によって差異が生じている

※FC大阪の入場料収入の一部が、その他収入に含まれていたため修正

3-4. リーグ戦総入場者数の推移



(単位：万人)



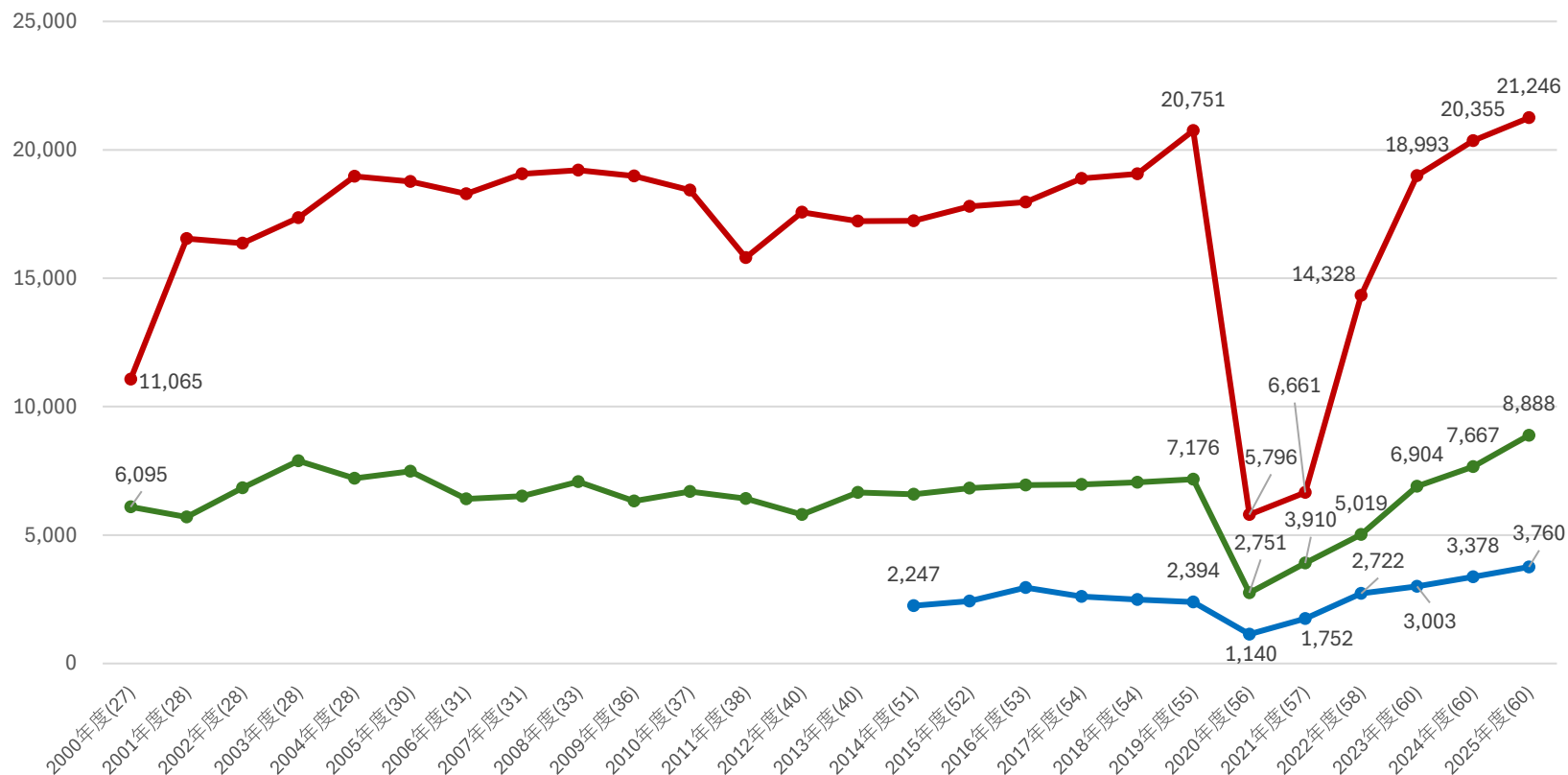
※2025年度総入場者数は、13,503,210人（明治安田 J 1・J 2・J 3リーグ、JリーグYBCルヴァンカップ、FUJIFILM SUPER CUP、J 1 昇格プレーオフ、J 2 昇格プレーオフ、J 3・J F L 入れ替え戦の合計値）

3-5. 1試合当たりの平均入場者数（リーグ戦のみ）の推移



(単位：人)

● J 1 ● J 2 ● J 3



4-1. 「赤字」と「債務超過」の違い



1. 損益総括

(百万円)

	金額
売上高	791
スポンサー収入	418
入場料収入	131
Jリーグ配分金	96
アカデミー関連収入	29
女子チーム関連収入	20
物販収入	45
その他収入	52
売上原価	757
トップチーム人件費	338
試合関連経費	92
トップチーム運営経費	143
アカデミー関連経費	30
女子チーム関連経費	10
物販関連費	31
その他売上原価	113
販売費および一般管理費	150
営業利益 (▲損失)	▲ 116
経常利益 (▲損失)	▲ 115
税引前当期利益 (▲損失)	▲ 115
法人税および住民税等	1
当期純利益 (▲損失)	▲ 116

2. 貸借対照表

(百万円)

	金額
流動資産	119
固定資産	40
資産の部 合計	159
流動負債	211
固定負債	4
負債の部 合計	215
資本金	285
資本剰余金	85
利益剰余金	▲ 426
資本(純資産)の部 合計	▲ 56

債務超過を解消する = (純資産を0以上にする) 方法

- (1) 資本金を増やす
→ 増資の実行 (資本金を出す人を募る)
- (2) 利益剰余金を増やす (マイナスを消す)
→ 当期純利益を出す
 - 費用を削減して利益を出す
(チーム人件費、試合運営費、etc.)
 - 収入を増やして利益を出す
(広告料、入場料、etc.)

したがって左のクラブの場合、債務超過解消には、

- ① 5,600万円以上の増資
- ② 5,600万円以上の当期純利益
- ③ 増資と利益の合計が5,600万円以上

のいずれかの手段を取らなければならない。

出資や増資等で得た資金はここにカウント

→これまでの黒字(赤字)の累積

→ここがマイナスなら「債務超過」

4-2. クラブの決算期の変更状況（2026年3月末時点）



決算期		
6月期	変更済み	1クラブ
	17ヶ月決算（2026年6月期）	5クラブ
	6ヶ月決算	4クラブ
	5ヶ月決算	39クラブ
	3ヶ月決算	2クラブ
	17ヶ月決算（2027年6月期）	2クラブ
	合計	53クラブ
12月期		2クラブ
1月期		3クラブ
3月期		2クラブ

4-3. 今後の経営情報開示スケジュール（予定）



- 2026年は、7月に3月決算の2クラブ、10月に6月決算の51クラブの経営情報を開示する予定であるが、シーズン移行期にあたり各クラブの決算期間が異なることから、決算一覧の公表に留めることとする
- 2027年以降は、全クラブの情報を毎年10月に開示するとともに、あわせてブリーフィングを実施する予定である

